

地震が起きると…

地震や大雨などの災害が発生し、下水道管やポンプ場、下水処理場が損傷すると、下水が流れず、マンホールや家庭の排水口から溢れ出ることがあります。

地震によって破損したマンホール
(平成28年4月熊本地震)

9月10日は
下水道の日

いつも流せること、 当たり前ではないんです。



マンホールがトイレに？

災害時には、トイレの確保が大きな問題となります。マンホールトイレは、あらかじめ避難所などに設置したマンホールの上に、簡易な便座やパネルを設けるものです。現在、全国約490の地方公共団体で、合計約3万2000基整備されています(平成30年度末)。



つないできた支援の輪

下水道事業は、災害支援に係る基本的な枠組みを定め、迅速な復旧活動に努めています。この復旧活動は、被災した地方公共団体だけで行うのではなく、各地から職員が集まり、全国で丸となって日本の下水道を支えています。